

ずっと細かいところまで消せる消しゴムのアイデアを絵で描く児童ら  
＝富加町滝田、タウンホールとみか



富加町で講座、新しい消しゴム考案

## 児童、光るアイデア続々

富加町公民館講座「君こそ、エジソンの卵だ」が、同町滝田のタウンホールとみかで開かれた。

同町教育委員会が主催。発明の鍵を見つげる秘けつを実感する座学と演習による講座があり、可茂地域の小学生24人が参加した。トヨタ自動車の子会社トヨタテクニカルデバイス・ロップメント（愛知県豊田市）で、車の開発で生まれる発明など知的財産に関わる仕事をする大橋玲沙さんから社員3人が講師を務めた。

演習では、「消しゴムは使い続けると角が丸くなり、細かいところが消しにくい。どんな消しゴムにしたら、ずっと細かいところまで消せるか」など計2問に挑んだ。児童は、思いついたアイデアをホワイトボードに絵で描き、「角がたくさんある消しゴム」や「細いスティック式の消しゴム」などを発表し、着眼点を磨いた。  
(沢野都)